

# 競技注意事項

## 1. 規則について

本大会は 2010 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 国立競技場使用上の注意

- イ) 当該種目競技者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- ロ) 更衣室は指定された場所を厳守して使用し、荷物は各大学で責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者側が責任を負うことはない。
- ハ) 更衣室は各日使用した大学が使用後清掃すること。
- ニ) 競技場は全天候舗装である(競技規則第 143 条の競技用靴に関する条項を参照)。
- ホ) 室内練習場でのトレーナー活動は、事前に大会本部の許可を受けた参加校に限る。また、更衣室でのトレーナー活動は一切禁止とする。
- ヘ) ダッグアウトでの周回練習は、事故防止のため厳禁とする。
- ト) 練習はランプ下直走路、コンコース(バックストレート側のみ)を利用すること。コンコース(バックストレート側のみ)は、一方走行とし、逆走は厳禁とする。また、練習場系の指示には必ず従うこと。
- チ) フィールド競技種目の練習は、各審判員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行う。

## 3. ナンバーカードについて

- イ) ナンバーカードは正規のものを 2 枚配布する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、走高跳、棒高跳競技者は胸、または背だけでもよい。トラック種目出場者は競技者係で配布する写真判定用腰ナンバー標識(競技終了後回収)をパンツの右下やや後方に付ける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。
- ロ) 5000m、10000m、10000mW、ハーフマラソン、4×400mR 出場者には、該当種目実施週に招集所にてレース用特別ナンバーを配布する。その際、確認のため事前に配布したナンバーカードを必ず持参すること。なお、男女 5000m、男女 10000m、男女 10000mW については両腰に腰ナンバー標識を着用する。
- ハ) ハンマー投に出場する選手のナンバーカードは、当日日本大学陸上競技場にて配布する。ただし、1 日目の種目に出場する場合は、代表者会議で配布する。
- ニ) ナンバーカードの地色、数字の色は次の通りとする。

種目	ナンバーカード
● 男子 1 部	黄色地×黒数字
● 男子 2 部・3 部	白色地×黒数字
● 女子 1 部・2 部	ピンク地×黒数字
● 5000m・10000m	オレンジ地×黒数字
● ハーフマラソン (男子 1 部) ● 10000mW (男子 1 部)	黄色地×赤数字
● ハーフマラソン (男子 2 部・3 部) ● 10000mW (男子 2 部・3 部、女子 1 部・2 部) ● 4×400mR	白色地×赤数字

## 4. 競技者の招集について

- イ) 競技者招集所は北入場口(100m スタート地点付近)に設置する。ただし、ハンマー投の招集については、日本大学陸上競技場(ウェイト場横の芝生)で行う。
- ロ) 各種目の招集開始・完了時刻は次表の通りとする。なお、招集完了時刻は競技日程を基準とする。

競技種目		ラウンド	組	開始	完了
トラック	<ul style="list-style-type: none"> <li>男子1部・2部・3部</li> <li>女子1部・2部全種目</li> <li>※3000mSC（予選）を除く</li> </ul>	全 て	1～2	競技開始 30分前	競技開始 20分前
			3～4	” 20分前	” 10分前
			5～	” 10分前	競技開始 時刻
	<ul style="list-style-type: none"> <li>男子1部・2部・3部 3000mSC</li> </ul>	予 選	1	競技開始 30分前	競技開始 20分前
2			” 10分前	競技開始 時刻	
フィールド	<ul style="list-style-type: none"> <li>男子1部・2部・3部</li> <li>女子1部・2部全種目</li> <li>※棒高跳を除く</li> </ul>	決 勝		競技開始 50分前	競技開始 40分前
	<ul style="list-style-type: none"> <li>男子2部やり投</li> </ul>	予 選			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>棒高跳</li> </ul>	決 勝		競技開始 110分前	競技開始 100分前

- ハ) 競技者の競技場所への入場は担当審判員の指示による。
- ニ) 代理人による点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。また、同時進行種目への出場競技者は重複出場者届(招集所に用意)を競技者係に提出すること。
- ホ) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので注意すること。
- ヘ) リレー競走は、オーダー変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙(招集所に用意)に記入して、**第1組の招集完了1時間前までに競技者係に提出すること**(メンバーについては競技規則第170条を参照のこと)。
- ト) 棒高跳の招集は現地にて行う。
- チ) 混成種目の招集時刻については8. 競技についてのト) を参照すること。

#### 5. 棄権について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく棄権する場合は不出場届(大会本部指定の用紙を招集所に用意)に必要事項を記入、捺印し競技者係に提出すること。ただし、代表者会議にて棄権を申し出た場合は提出しなくてよい。

#### 6. 競技の抽選・番組編成

- イ) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。エントリーが7名以下の場合、1レーンを空けて2レーンから行う。
- ロ) フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
- ハ) 準決勝以降の組み合わせおよびレーン順は主催者が公正に抽選する。
- ニ) タイムにより次のラウンドの出場者を決める時に、同記録者(チーム)があり、レーンが不足する場合は、写真判定員主任が1,000分の1秒単位の時間を判定して出場者を決める。それでも決まらない場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い決定する(競技規則第167条同成績に関する条項を参照)。

#### 7. 用器具について

- イ) 競技に使用する用器具(やり・棒高跳用ポールを除く)は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。
- ロ) 走高跳・棒高跳の練習に関しては主催者が用意するゴム製バーを使用して練習すること。
- ハ) やりに関して、持ち込みを希望する場合は、招集完了時刻1時間前までに用器具庫(南入場口)にて公式計測員に許可をもらい使用することができる。なお、個人所有のものは、競技場の備品としての

扱いとなるので、他の競技者と共用になる。また、破損等については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みのやりは競技終了後用器具庫にて返却する。

## 8. 競技について

イ) 跳躍競技(高さで順位を決定する競技)のバーの上げ方は次の通りとする。

走高跳		練習	1	2	3	4	以後、最後の1人になり、優勝者が決まるまでは3cm刻みとする		
	男子1部	1.95	2.00	2.05	2.10	2.13			
	男子2部・3部	1.85	1.90	1.95	2.00	2.05			
	女子1部・2部	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73			
棒高跳		練習	1	2	3	4	5	6	以後、最後の1人になり、優勝者が決まるまでは5cm刻みとする
	男子1部	4.50	4.60	4.70	4.80	4.90	5.00	5.10	
	男子2部・3部	4.00	4.20	4.40	4.60	4.70	4.80	4.90	
	女子1部・2部	2.30	2.50	2.70	2.90	3.00	3.10	3.20	

ロ) 三段跳の踏切板の位置は、砂場に近いほうの端から男子13m、女子10mとする。

ハ) 計時・計測について

トラック競技の計時はすべて電気計時(1/100秒)を用いて行う。ハーフマラソンは手動計時とする。

ニ) 給水について

5000m以上の種目では、バックストレートに給水所を設置し、水及びスポンジを用意する。給水後のコップ、スポンジについては他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。

ホ) ハーフマラソンについて

水濠付近において1周遅れの者はレースを中止させる。また、1時間8分をもって残り一周に達しない場合も同様とする。

ヘ) 男子やり投(2部予選・3部決勝について)

男子2部やり投は、参加人数の関係上A・Bの2組に分けて予選を行う。予選通過標準記録は「58m50」とする。ただし、予選通過標準記録を突破したものが12名に満たない場合は、記録上位のものから12名まで決勝に出場する。なお、男子3部決勝については男子2部予選B組と同時に実施する。

ト) 混成競技について

1) 招集は1日目、2日目の最初の競技種目開始予定時刻の30分前(第4日の七種競技は50分前)に招集所で行う。以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。

2) 混成競技者控室は、C・D更衣室に設置する。(競技場見取り図参照)なお、15、16日については、C更衣室を男子1部、D更衣室を男子2部・3部、22、23日については女子1部・2部混成競技者控室とする。

3) 混成競技者控室への付添い、コーチ等の出入りは認めない。

4) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男子	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.93	以後、3cm刻み
	女子	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63	1.66	
棒高跳	男子	2.50	2.70	3.00	3.30	3.60	3.80	4.00	4.10	以後、10cm刻み

## 9. 表彰について

イ) 男子1部・2部・3部、女子1部・2部の総合優勝校、男子1部・2部、女子1部のトラック、フィールド優勝校、男子1部・女子1部の多種目優勝校を表彰する。

ロ) すべての競技終了後、本大会最優秀競技者を男子1部・2部、女子1部各1名選出し、表彰する。

- ハ) 男子1部・2部、女子1部の各種目3位までに入賞した者は、競技終了後ただちに表彰を行うので、受賞者集合場所(1階表彰控室)に待機し、表彰係の指示に従うこと。
- ニ) 男子1部・2部、女子1部の各種目4位から8位までに入賞した競技者は、賞状を授与するので、大会期間中に表彰係室で賞状を受け取ること。
- ホ) 表彰を受ける際は、各校の公式ユニフォームを着用すること。また、ナンバーカードも着用すること。
- ヘ) 代理表彰は一切認めず、不在の場合は空席として表彰を行う。

#### 10. 対校得点及び順位

- イ) 対校得点は、男子1部・2部、女子1部は各種目1位8点から8位1点まで1点刻みとする。  
同順位により、対校得点を割る場合には小数計算(ただし、同順位が小数計算で算出できない場合は分数計算とする)を行う。その計算は記録員が行う。
- ロ) 優勝校は最多得点校1校とする。最多得点校が2校以上ある場合は、各競技種目で上位入賞者の多い順に決定する。これで決定しない場合は、4×400mR(女子1部・2部は4×100mR)の順位で決定する。
- ハ) ロ)によって優勝校が決定しない場合は、本連盟評議員会の諮問を経て、本連盟幹事会が決定する。
- ニ) 2位以下の順位は得点順とし、同得点の場合は、ロ)に準じて決定する。
- ホ) 男子1部・2部の入れ替えについては、2部優勝校と2位校が次年度1部に昇格する。また1部においては下位の2校が2部に降格する。また1部最下位校が無得点で3校以上となった場合は、その全大学が2部に降格し、同数の2部上位校が1部に昇格する。また、1部最下位校が同得点で3校以上並び、ロ)によっても順位がつかない場合は抽選により2校が2部に降格し、同数の2部上位校が1部に昇格する。

#### 11. 男子3部、女子2部について

- イ) 番組編成について  
男子3部は2部、女子2部は1部と同一の番組編成とする。ただし、レーンを使用するトラック種目において、同一種目に多数の申し込みがある場合は、男子3部、女子2部のみで1つの組を編成することがある。
- ロ) 競技について
  - 1) トラック・道路競技について  
予選1レースのみ(一発決勝の場合は決勝)に出場することができる。従って、予選での着順やタイムが上位であっても次ラウンドには進めない。
  - 2) フィールド競技について  
走幅跳、三段跳、投てき種目については、前半の3回の試技を行うことができ、その記録で順位を決定する。  
走高跳、棒高跳については、男子2部、女子1部と同様の試技回数とする。
  - 3) 混成競技について  
男子2部、女子1部と同様とする。
- ハ) 表彰について  
各種目3位までに入賞した者は、賞状を授与するので、大会期間中に表彰係室で賞状を受け取ること。なお、種目別表彰は行わない。
- ニ) 対校得点及び順位について
  - 1) 対校得点は、各種目1位3点、2位2点、3位1点とする。
  - 2) 優勝校の決め方については10. 対校得点及び順位と同様とする。
  - 3) 男子3部及び女子2部の入れ替えは一切行わない。

#### 12. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が電光掲示板に正式発表されてから30分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に、担当総務員(大会本部に常駐)を通じて口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なされる。

抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書(大

会本部に用意)に必要事項を記入し、預託金 10,000 円を添えて上訴する。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する(競技規則第 146 条抗議と上訴に関する条項を参照)。

13. 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。

14. 衣類の管理について

イ) トラック競技出場者の荷物運搬用としてビニール袋を主催者側で準備する。氏名、大学名、種目、ナンバーを記入すること。

ロ) スタート前に脱衣した衣類等は籠に入れ審判員が指示した場所に置くこと。これらの衣類は、ただちにフィニッシュ付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自で受け取り退場すること。

ハ) リレー、ハーフマラソンの荷物運搬に関しては主催者側では行わないので、各自で行うこと。

15. その他

イ) 2010 年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について特に注意すること。

ロ) 本競技会における不正スタートに関しては、国際陸上競技連盟 (IAAF) が決定した 1 回失格の新規則は適用せず、2 回目は誰であろうと失格、混成競技では同一競技者が 2 回犯した場合を失格とする従来の規則を用いる。

ハ) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んではいない。

ニ) 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。

ホ) 競技場内での競技者への付添は一切認めない。

ヘ) 式典について

開・閉会式に参加する各大学の旗手、選手(閉会式のみ)は下記の通り集合し、式典担当者の指示に従うこと。

- ・ 開会式 15 日 9:15 集合 北入場口(スタート付近)
- ・ 閉会式 23 日 15:45 集合 北入場口(スタート付近、該当大学は代表者会議で連絡する)  
南入場口(フィニッシュ付近、該当大学は代表者会議で連絡する)

ト) ID について

下記の区域に立ち入る者は、以下の通り必要となる ID を所持していなければならない。出場競技者は必ず ID をつけ、ナンバーカードでの競技運営エリア内への入場は認めない。

区 域	必要とする ID(いずれか 1 つで可)
メインスタンド下部施設内	各種ネームプレート・各種 ID・招待状
競技場所・ダッグアウト	各種ネームプレート・各種 ID・報道用ビブス

チ) 応急処置について

競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする(競技者保険の適用)。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わないものとする。

リ) 緊急車両の手配について

救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。

ヌ) 盗難・紛失について

主催者側で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等は学連控室で管理する)。

ル) 応援について

- 1) 集団応援は、エントリー時に定めた各大学指定の場所(バックスタンド中段)のみで行うこと。その他の場所での集団応援は一切禁止とする。

- 2) 横断幕は、エントリー時に定めた各大学指定の場所のみ掲出（各大学1枚）を許可する。また、1日ごとに取り外し、各大学で保管すること。
- 3) メーンスタンドでの大学を明示するもの（部旗、横断幕、幟等）の使用・掲出は一切禁止とする。集団応援場所では、手で持って使用する場合に限り使用を許可する（横断幕を除く）。ガムテープ等での貼り付けは一切禁止とする。

ヲ) 国立競技場開門及び閉門時間について

	(開 門)	(閉 門)
1日目<5月15日(土)>	7:00	19:30
2日目<5月16日(日)>	7:00	19:30
3日目<5月22日(土)>	7:00	18:30
4日目<5月23日(日)>	7:00	18:00

※開・閉門時間は厳守のこと。

ワ) 荷物の搬入搬出について

各大学車輛の競技場内への進入は禁止とする。ただし、荷物搬入搬出券を持参している場合に限り南車門からの入場を許可する。その際、競技場内での駐車は禁止とし、荷物の積み下ろし後は、周辺のコインパーキング等に移動すること。

カ) その他、不明な点は大会総務に問い合わせること。